

SYSTÈME DE LA MODE

par

Roland Barthes

Éditions du Seuil, Paris, 1967

目次

翻訳についてのまえがき . . . . . 1

序論..方法

第一章 書かれた衣服 . . . . . 13

I 三種類の衣服..イメージとしての衣服と書かれた衣服  
2 現実の衣服

II シフター..3構造から構造への移転 4 三種のシフター

III 用語法規則..5ことばによる構造を選択する 6 記号学と社会学 7 コルプス 8 用語法規則

IV 記述..9 文学的記述とモードの記述 10 知覚のレベルの不動化 11 認識の機能 12 強調の機能 13 記述の目的性 14 言語とパロール、衣服と服装

第二章 意味の関係 . . . . . 35

I 共変異の領域あるいは入れ換えクラス..I 入れ換えテスト 2 入れ換えクラス..衣服と世界 3 入れ換えクラス..衣服とモード 4 集合Aと集合B  
II 意味作用の関係..5 等値 6 方向性 7 分析の方向..深さと拡がり

第三章 物とことばの間 . . . . . 46

I 同時的体系群..原理と例..I 同時的〔連立〕体系群の原理..コノーティションとメタ言語 2 三つの体系をもつ集合..分節点 3 道路交通信号系を教える 4 体系の分離 5 体系の序列  
II 書かれた衣服の体系..6 諸体系の明細表 7 集合Aにおける体系群 8 集合Bにおける体系群 9 ふたつの集合の関連

III それぞれの体系の自律性..10 それぞれの体系の自律性の程度 11 レトリックの体系 12 モードのコノーティション 13 書かれた衣服のコードと現実の衣服のコードの理論上の自律性

第四章 無限界の衣服 . . . . . 65

I 変形と切り分け..I 原理と数

II 変形1..レトリックから用語へ..2 原理 3 混合辞項..へ小さな

III 変形2..用語から衣服のコードへ..4 変形2の限界

5 自己循環 6 偽統辞へ 7 混合コードあるいは偽現実のコード 8 変形2の制約 9 変形2の自由 10 還元と増幅

IV 分析のレベル..11 モード製造機 12 分析のふたつのレベル

V 切り分け1..意味作用の陳述..13 集合Aの場合 14 集合Bの場合

VI 切り分け2..補助的な陳述..15 記号作用部の陳述、記号意味部の陳述

第I部 衣服のコード

1 記号作用部の構造

第五章 意味作用の単位 . . . . . 84
I 意味作用の単位の探求 . . . . . 1 一覧目録作製と分類 2 記号作用部の陳述の複合的な性格

- II 意味作用の母型 . . . . . 3 二重型の共変異をもつ陳述の分析
4 意味作用の母型・対象、支持項、変異項5母型の「証明」
III 対象、支持項、変異項 . . . . . 6 対象あるいは離れたところから作用する意味 7 支持項の記号学的な独自性 8 衣服素あるいは変異項
IV 母型の構成要素相互の関連 . . . . . 9 統合と体系 10 母型の構成要素の連帯性
V 素材実体と形式 . . . . . 11 母型の中における衣服の素材実体の配分

第六章 融合と拡張 . . . . . 100

- I 母型の変形 . . . . . 1 母型の変形の自由
II 要素の倒置 . . . . . 2 倒置の自由とその限界
III 要素の融合 . . . . . 3 OとSとの融合 4 SとVとの融合 5 OとNとの融合
IV 要素の多数化 . . . . . 6 Sの多数化 7 Vの多数化 8 Oの単独性
V 母型の建築構造 . . . . . 9 一要素または要素群への母型の委託 10 意味のヒラミッド 11 相称変換的な統辞
VI ルーティーン . . . . . 12 ルーティーン(S)Vとルーティーン(O)S V 13 ルーティーンと最終的な意味

第七章 種の断定 . . . . . 121

- 度の変異項(XI)
V 尺度の変異項 . . . . . 15 限定されたものから無限定なものへ
16 長さの変異項(XII) 17 幅の変異項(XIII) 18 体積の変異項(XIV) 19 大きさの変異項(XV)
VI 連続性の変異項 . . . . . 20 連続性の裂目 21 分割法の変異項(XVI) 22 取りはずしの変異項(XVII) 23 とじかたの変異項(XVIII) 24 定着法の変異項(XIX) 25 まげかたの変異項(XX)
第二〇章 関係の変異項 . . . . . 205

- I 位置の変異項 . . . . . 1 水平位置の変異項(XXI)、垂直位置の変異項(XXII)、前後位置の変異項(XXIII)、方向の変異項(XXIV) 2 右と左、上と下
II 配分の変異項 . . . . . 3 数の変異項(XXV) 4 多数性の変異項(XXVI) 5 均衡の変異項(XXVII)
III 連結の変異項 . . . . . 6 連結 7 現れ方の変異項(XXVIII)
8 連合の変異項(XXIX) 9 調整の変異項(XXX)
IV 変異項の変異項 . . . . . 10 程度の変異項

第二十一章 体系 . . . . . 227

- I 意味、監視すべきの自由 . . . . . 1 体系的拘束と統合的拘束
II 体系的収率 . . . . . 2 対立関係の原理の比喩:「スポット」
3 二者選一型の対立関係 4 両極型の対立関係 5 系列型の対立関係 6 組み合わせ型および無法則型の対立関係
7 体系的収率 . . . . . 二元体制の問題
III 記号作用部の中性化 . . . . . 8 中性化「中和」の条件 9 原衣服素の役わり
IV 種の体系的還元 . . . . . 現実の衣服へ . . . . . 10 用語法規則を越えて: 授権変異項 11 材料の種の意味論的分類 12 色の種の

- I 種 . . . . . 1 衣服のさまざまな種、2 現実の種と名づけられた種 3 種の種類
II 種の変異 . . . . . 4 種の断定の原理 5 X \ 「残余」という対立関係
III 種のクラス . . . . . 6 多様な「残余」: 対立関係の有効圏 7 非両立性テスト 8 類
IV 種と類との関連 . . . . . 9 素材実体という点から見た類と種
10 異なる類の種同士 . . . . . a, b, c 11 同一の種同士 . . . . . 2a, 12 同一の類の種同士 . . . . . a1/a2, 4, 4.5, a1/a2
V 種の断定の機能 . . . . . 13 一般的な機能: 自然から文化へ 14 方法上の機能

第八章 類の一覧目録 . . . . . 138

- I 類の組成のありさま . . . . . 1 類ごとの種の数 2 亜種変種 4 ひとつしか種のない類 5 いくつもの類に属している種
II 類の種類 . . . . . 6 類のリストの流動性 7 分類のための外部的な基準 8 アルファベット順による分類
III 類の一覧目録 . . . . . 9 種と類のリスト

第九章 存在の変異項 . . . . . 157

- I 変異項の一覧目録 . . . . . 1 変異項の組成とその提示法
II 同一性の変異項 . . . . . 2 種の断定の変異項(I) 3 存在の断定の変異項(II) 4 人工性の変異項(III) 5 マークの変異項(IV)
III 成形の変異項 . . . . . 6 形態とパロール 7 形態の変異項(V) 8 合ふ加減の変異項(VI) 9 動きの変異項(VII)
IV 物質の変異項 . . . . . 10 全身感覚 11 重さの変異項(VIII) 12 しなやかさの変異項(IX) 13 起伏の変異項(X) 14 透明

意味論的分類 13 暗黙の支持項: 還元可能な種と単純種

第二十二章 統合 . . . . . 247

- I モードの特徴 . . . . . 1 統辞の関係を統合的連合 2 連合が不可能な場合 3 二者選一の自由 4 モードの在庫と歴史の在庫
II 統合的収率 . . . . . 5 要素とは何かという統合的な定義: 「原子価」 6 統合的収率の原理 7 要素の豊かさや貧しさ
8 意味の拡がりかそれとも意味の力か?
III モードの恒久的な一覧目録 . . . . . 9 典型的連合 10 基本的モード 11 モードの恒久的な一覧目録
IV 結論 . . . . . 12 類と変異項の構造的分類

第二十三章 記号意味部の構造 . . . . . 268

- I 社会的な世界にかかわる記号意味部とモードを指してゐる記号意味部 . . . . . 1 集合Aと集合Bの差異: インローシ
II 意味の単位 . . . . . 2 意味の単位と語彙の単位 3 意味作用の単位と意味の単位 4 常用の単位と独特の単位 5 常用の単位 6 独特の単位
III 意味の単位の構造 . . . . . 7 「原単位」の問題 8 AUTT関係 9 意味論的なマークの問題

第二十四章 組み合わせと中性化 . . . . . 280

- I 記号意味部の組み合わせ . . . . . 1 意味の単位の統辞 2 ET関係 3 VEL関係
II 記号意味部の中性化 . . . . . 4 中性化 5 原意味素 機能項および機能 6 意味の有効圏 7 普遍的な衣服 8 中性化の理由

3 記号の構造  
第一章 衣服という記号 . . . . . 296

I 定義 . . . 1 衣服という記号の統辞的性格 2 「価値」の不在

II 記号の随意性 . . . 3 モードの記号の制度  
III 記号の有縁性 . . . 4 有縁性 5 集合Aの場合 6 記号意味部としての衣服 . . . 遊びと効果 7 集合Bの場合

第II部 レトリックの体系

第六章 レトリックの体系の分析 . . . . . 311

I レトリックの体系の問題点 . . . 1 分析の問題点 2 ひとつの例

II レトリックの記号作用部 . . . モードの文章体 . . . 3 文章体の様式論のために 4 モードの文章体のいくつかの主要な特徴

III レトリックの記号意味部 . . . モードのイデオロギー . . . 5 暗黙のものとして潜在するもの 6 レトリックの記号意味部の「星雲状態」 7 レトリックの記号意味部の「証拠」という問題

第七章 記号作用部のレトリック . . . 衣服の詩 . . . 325

I 「詩」 . . . 1 物質とことば 2 稀少で貧しいレトリック 3 デノテーションとコノテーション . . . 混合用語 4 記号意味部 II 記号作用部  
II 衣服のレトリックの記号意味部 . . . モデル . . . 5 認識的モデル . . . 「文化」 6 感情的モデル . . . 「愛情形態」 7 モードの「まじめさ」 8 活力的モデル . . . 「ディテール」

III レトリックと社会 . . . 9 レトリックとモードの大衆層  
第八章 記号意味部のレトリック . . . モードの世界 . . . . . 339

I 世界の表象 . . . 1 隠喩と並列法 . . . モードの小説性 2 分析の原理 . . . 「仕事」の概念

II 機能と状況 . . . 3 活動的状況および祝祭的状況 4 時間的状況 . . . 春、バカンス、ウィーク・エンド 5 場所的状況 . . . 滞在と旅行 6 行為の像

III 本質特性とモデル . . . 7 社会 II 職業的モデル 8 性格の本質特性 . . . 「パーソナリティ」 9 同一性と他性 . . . 名前と遊び 10 女性らしさ 11 記号意味部としてのからだ

IV モードの女性 . . . 12 女性読者からモデルへ 13 モードの幸福感

第九章 記号のレトリック . . . モードの合理 . . . . . 362

I モードの記号のレトリック的変形 . . . I 記号と合理  
II 集合A . . . 機能 II 記号 . . . 2 現実の衣服における記号と機能 3 現実的機能と非現実的機能 4 「合理化」

III 集合B . . . モードの法 . . . 5 表記されたもの II 表記されていないもの 6 見せものとしての「法」 7 法から事実へ  
IV レトリックと時間 . . . 8 モードの合理とモードの時間

結論

第二十章 体系の経済体制 . . . . . 379

I モードの体系の独自性 . . . I 意味を護り世界に戸口を開くもの、言語 2 分類作用 3 ひらいた体系とした体系  
II 集合A . . . 転嫁作用とオートピア . . . 4 記号意味部が名づ

けられていること 5 仮面のかげに隠れているモード 6 オートピアの現実と現実のオートピア 7 記号の自然化  
III 集合B . . . 意味への裏切り . . . 8 無限の隠喩 9 意味への裏切り 10 モードの現在  
IV モードの二重の体系 . . . 11 モードの倫理的両義性 12 変形  
V 体系に対する分析の姿勢 . . . 13 先へ先へと逃れてゆく分析

付録

1 歴史とモードの通時態 . . . . . 413 405  
2 モード写真 . . . . . 417

主要術語解説 . . . . . 422

訳者あとがき . . . . . 417

索引

モード用語の索引 . . . . . i  
内容・事項の索引 . . . . . ix